

マツモ

Ceratophyllum demersum L.

マツモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地は県内に広く分布していたが、生育環境の変化を受けた結果、個体数が激減している。(現況:R-)

形態

茎は枝分かれし、節ごとに7~10枚の葉が輪生する。へりには細かい鋸歯がある。茎の先は葉が集まり、房状になる。花は紅を帯びた白色で、葉腋につき、小さく目立たない。

国内分布

北海道~南西諸島。

県内分布

南加賀区、加賀中央区、口能登区、中能登区、外浦区。

生態など

茎の長さ30~80cmになる沈水植物である。開花期は6~7月。花は雄花と雌花とに分かれ、同一茎上の別の節にそれぞれ1個ずつつく。花粉は水中にたどって雌花にたどりつく。果実は長楕円形で先端と基部の両側に3本の長い刺状の突起がある。秋遅く、茎の先端に葉が密集し、筆状の植芽となり、これが水底に沈み、越冬する。

生育環境

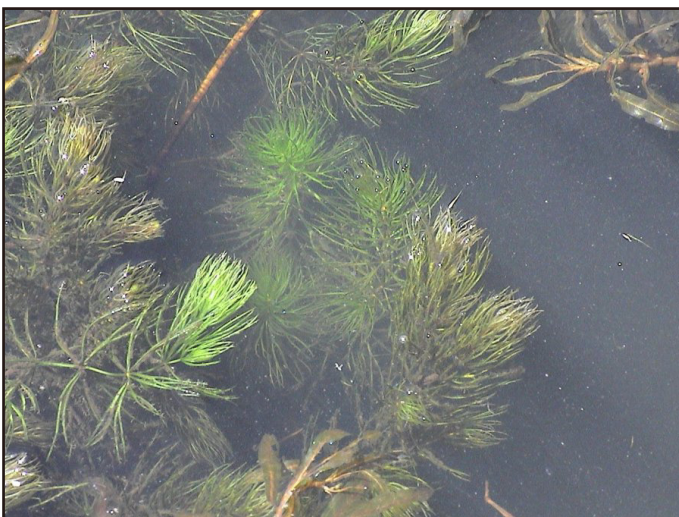
県内全域のpH5.6~7.5の池沼や流れのゆるやかな河川や水路等に生育する。

危険要因

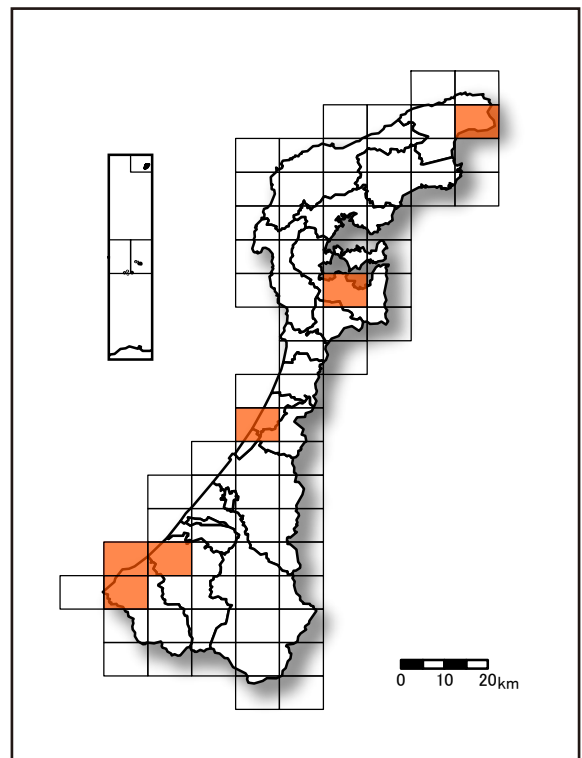
池沼開発、河川開発、水質汚濁。

特記事項

金魚藻とよばれる水草の1つである。



白井伸和・2002年6月9日・内灘町



県内の分布